



©APDA

2006年 国際人口開発会議行動計画実施のための国際議員会議 (IPCI/ICPD)

2006年11月にタイのバンコクでIPCI/ICPDが開催されました。1994年のカイロ会議以降、日本の国会議員が中心となって国連主催のさまざまな会議にあわせて、国会議員会議を開催してきました。現在では、2年に一度、各地域議連の持ち回りで世界会

議を開催しています。このIPCI/ICPDバンコク会議は2002年カナダ国オタワ会議、2004年フランス国ストラスブール会議に続く3回目で、アジア地域がホスト開催し、福田康夫AFPPD議長が全体会議の議長を務めました。

なぜ国会議員が人口問題を扱うの？(3)

国会議員は私たち国民が選んだ人たちです。その意味では私たちの福利の代表でもあります。地域の伝統的な利益や文化・習慣を代表する人たちでもあります。選挙が公正に行われていれば、良くも悪くも私たちの現状を表しているのです。国会議員はこのような背景を持っているため、国会議員が人口問題の重要性を理解することができれば、どのような方法であれば国民

に受け入れ可能かを提示することもできます。そして国会議員は法律を作り、予算を決める権限を持っています。いくら良い人口プログラムがあったとしても、それを支える法律や予算の裏づけがなければ「絵に描いた餅」になってしまいます。つまり、国会議員が人口問題を理解して「立法」を行い「予算」を獲得することは決定的な重要性を持っているのです。

Conference on the Implementation of the ICPD Programme of Action (IPCI/ICPD), Bangkok, Thailand, 2006

In 2006, the third International Conference on the Implementation of the ICPD Programme of Action (IPCI/ICPD) was held in Bangkok, Thailand. The global and regional parliamentary groups host an IPCI/ICPD Conference biennially, and the third

Bangkok IPCI/ICPD Conference was preceded by the first conference in Ottawa, Canada in 2002 and the second in Strasbourg, France in 2004. Mr. Yasuo Fukuda, AFPPD Chairperson, chaired all the plenary sessions.

Parliamentarians and Population Issues (3)

Parliamentarians elected by their constituents represent their needs and interests. Elected representatives with good understanding of the importance and impact of population issues can institute

legal systems and mobilize national budget to implement policies for these issues in such a way as to be acceptable to the public.

